

News Release

2023年2月28日

東日本電信電話株式会社 埼玉支店

蓮田市立蓮田中央小学校にて

「ネット安全教室」・「災害時の情報伝達教室」開催！

～ICT時代・災害の時代を生きる子供たちに必要なコミュニケーションスキル～

東日本電信電話株式会社 埼玉支店（支店長 市川 泰吾、以下「NTT東日本」）は、出張授業「ネット安全教室」「災害時の情報伝達教室」を、2月22日（水）に以下のとおり開催いたしました。

NTT東日本では、2006年度よりCSR活動の一環として「次世代のICT社会を担う子どもの育成」を掲げ、社員が東日本地域の小学校などへ講師としてお伺いし、インターネット上のコミュニケーション方法やマナーをテーマにした出張授業「ネット安全教室」を開催しています。

パソコンや携帯電話でインターネットを使う子どもたちが増えるとともに、ICT時代ならではのトラブルも増加しています。トラブルを防ぐためには、子どもたち自身のスキルアップや知識の習得が求められています。

当日は、NTT東日本 埼玉支店の社員が講師となり、「ネット安全教室」ではインターネットで起こりがちなコミュニケーショントラブルや危険について事例を交え、一緒に考えながら授業を行いました。また、「災害時の情報伝達教室」では、災害時に家族等と連絡を取る方法などについて、公衆電話のデモ機や地図を使ってお伝えしました。

1. 開催概要

- (1) 開催日時 2023年 2月22日（水） 10：40 ～ 11：25（3時限目）
- (2) 開催場所 蓮田市立蓮田中央小学校（埼玉県蓮田市関山3丁目6番1号）
- (3) 開催方法 講義内容を校内にオンライン配信授業。各教室大型画面に投影
- (4) 参加者 小学4年生から小学6年生（282名／9クラス）
- (5) 講師 NTT東日本 埼玉支店 社員
- (6) 内容 二部構成

<一部>ネット安全教室

シチュエーションに応じて「対面」と「インターネット上」での対話を使い分け、トラブルを防ぐための上手なコミュニケーションのしかたをアニメや実技などを通して学びます。

<二部>災害時の情報伝達教室

クイズを通じて災害時の公衆電話の優位性をご紹介。デモ機により公衆電話の使い方と災害時に家族・知人などの安否を確認する「声の伝言板」「災害用伝言ダイヤル（171）」のご利用方法を説明しました。

【授業内容】

<一部>ネット安全教室

①授業のコンセプト

パソコンやタブレット、スマートフォンや携帯電話の利用を禁止する「べからず教育」ではなく、お子さま自身がトラブルを未然に防ぐ判断力を養えるよう教えます。

②カリキュラム

方針：インターネット上のコミュニケーションについて、より具体的な対処方法や判断能力を身につける。

構成：小学校高学年になると、さまざまなインターネットのサービスを利用するようになり、それに伴いコミュニケーショントラブルも増加、多様化していきます。

アニメーションを使用し、事例を交えて、一緒に考えながら授業を行います。

- 1) アニメーション視聴（順次視聴）
- 2) インターネット上での会話について考える
- 3) SNSの注意点について学ぶ
- 4) インターネットの課金について学ぶ
- 5) 個人情報について考える
- 6) まとめ

<二部>災害時の情報伝達教室

- 1) 地震でできなくなることクイズ
- 2) 災害時の公衆電話の使い方「災害用伝言ダイヤル（171）」実機デモ
- 3) 蓮田中央小学校の隣接周辺の公衆電話設置場所の確認

NTT東日本は、社会生活上の安全及び戸外における最低限の通信手段を確保する観点から、第一種公衆電話機を設置基準（市街地：概ね500メートル四方に1台、それ以外の地域：概ね1キロメートル四方に1台）に基づき、利用状況を勘案しつつ業務区域全体で約58千台設置しています。<*1>

<*1>NTT東日本HP「第一種公衆電話機の設置の状況」

<https://www.ntt-ast.co.jp/univs/univ-sub1.html>

NTT東日本では、これらの授業を通し、次代を担う子どもたちのメディアリテラシー育成に貢献してまいります。

《当日の様様》



「ネット安全教室」



「災害時の情報伝達(公衆電話の使い方)教室」



「ネット安全教室」のオンライン配信授業